令和7年第2回太良町議会
(定例会第2回)

一般質問通告書

太良町議会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 19	1	山口 一生	<p>1. 行政DX推進と人的リソース再配置について</p> <p>AIを含む情報処理技術は進化の一途をたどり、本町においてもその活用が急務となっている。</p> <p>太良町DX推進方針では、積極的な取組の方向性が示されているが、DXとは単なる技術導入ではなく、不可逆的な業務構造の変革を伴うものである。</p> <p>とりわけ人的リソースの再配置など、組織全体に波及する課題については、慎重かつ戦略的な対応が求められる。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 太良町DX推進方針の策定過程において、職員及び労働組合との具体的な意見交換（回数、内容、結果の反映状況）はどのように実施されたか。</p> <p>(2) AI・RPA等のデジタル技術導入により、今後3年間で削減が見込まれる具体的な業務内容、業務時間、及び人員数を定量的に示されたい。</p> <p>(3) 上記によって、創出が見込まれる人的リソースについて、高齢者移動支援、空き家対策、地域DX伴走支援といった喫緊の町内課題へ再配置にするための具体的な計画（対象業務、配置時期、人員規模、期待される効果）は策定されているか。されている場合、その概要はどうなっているか。</p> <p>(4) 業務再編や新たな技術導入に伴い想定される職員の負担増及び心理的な不安に対し、どのような軽減策やサポート体制（研修機会の提供、相談窓口の設置、人事評価制度への配慮等）を講じる計画か、その枠組み実施スケジュールを示されたい。</p> <p>(5) 行政DX推進によって向上させるべき住民サービスの具体的な成果指標（KPI）、及びその進捗を測定・評価し、改善に繋げるための体制（担当部署、評価サイクル、町民への公表方法等）はいつ、誰が、どのように設定する計画か。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 19	1	山口 一生	<p>2. 教育現場における生成A I活用とA Iリテラシー向上について</p> <p>生成A Iの発達は、子どもたちの学びに大きな可能性をもたらす一方で、その活用には高度なリテラシーが求められる。</p> <p>本町の子どもたちがA Iを積極的に使いこなし、その力を未来への飛躍につなげていくためには、教育現場における適切な支援が不可欠である。そこで、以下を問う。</p> <p>(1) 小中学校における生成A I活用のビジョンと段階的ロードマップは策定済みか。</p> <p>(2) 教職員・ICT支援員を対象とした生成A I研修の実施計画、講師体制、予算確保状況はどうか。</p> <p>(3) 児童生徒向けA Iリテラシー教育（ハルシネーション対策・情報信頼性等）の開始時期と具体的な教育内容、及びその効果測定の方法はどうか。</p> <p>(4) 生成A I利用に係るプライバシー保護、著作権への配慮、情報モラルに関する指導指針やガイドラインは策定済みか。</p> <p>(5) 経済的・地理的条件に左右されない公平な端末・通信環境整備の進捗状況と今後の課題、及びその解決策はあるか。</p> <p>(6) 地域協力者や地元産業界等と連携した「子どもA I寺子屋」のような、地域ぐるみでのA I学習機会創出に関する検討状況及び具体的な構想はあるか。</p>	教育長
5. 19	2	待永るい子	<p>1. 町税の納入方法について</p> <p>今年から変更になっている町税の納入方法だが、十分に理解できていない部分も見受けられるので、以下の点について問う。</p> <p>(1) どのような経緯で変更になったのか。</p> <p>(2) 変更前と変更後ではどのように変わるのか。</p> <p>(3) 町民へのメリットはあるのか。</p>	町 長
			<p>2. 人事評価制度について</p> <p>2014年に地方公務員法の改正を受け、全国の自治体で取り入れられている人事評価制度について問う。</p> <p>(1) 太良町が人事評価制度を取り入れた経緯についてはどうか。</p> <p>(2) どのような内容で評価しているのか。</p> <p>(3) 評価をする人は基本的にどのような立場の人か。</p> <p>(4) 自治体独自の評価もあるのか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 21	3	大鋸 美里	<p>1. お産を取り巻く環境について</p> <p>少子化が進む中、全国的に出産ができる病院や診療所などが都市部に集中し、地方では減少する傾向が強まり、出産施設がない「分娩空白市町村」が増加している。太良町も該当地域として挙げられる。そこで町におけるお産を取り巻く環境と課題について問う。</p> <p>(1) 町内における出生数の推移と出産環境の変遷についてどうなっているのか。</p> <p>(2) 産前のサポート体制はどのような支援があるのか。</p> <p>(3) 産後のサポート体制はどのような支援があるのか。</p> <p>(4) 子育て世代包括支援センターの役割は何か。</p> <p>(5) 産前産後の課題及び対策はどのようなことがあげられるのか。</p>	町 長
5. 22	4	森田 政則	<p>1. 太良町の今後の漁業のあり方について</p> <p>かつて海産物の宝庫と言われた有明海は、太良町では豊富な魚種で大漁であった。</p> <p>しかし、現在では漁獲量が著しく減少し、特に冬場はほとんど採れず活気が失われてきている。</p> <p>海苔にしても昨季は最初こそ黒かったものの、すぐに色落ち海苔に変身してしまう状況であった。</p> <p>もう、従来の方法では生活していく余裕がなく何をすればよいかわからない状況である。そこで以下について問う。</p> <p>(1) ここ 10 年間くらいの漁業従事者の推移はどうなっているのか。</p> <p>(2) 漁業従事者事業継続支援給付金など漁業者を支援する補助事業があるが、過去 3 年間の申請状況はどうか。</p> <p>(3) 町内の漁業者と行政が、今後の有明海の漁業が復活できる方法をじっくり話し合う意見交換の場を設けることはできないか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 23	5	峰 正雄	<p>1. 農業用ため池の現状について</p> <p>ため池は農業用水源であることはもとより、動植物の生態系保全等の多面的機能を有している。近年、異常降雨によるため池の水位変化が頻発し、老朽化している。堤体は脆弱化しており、集中豪雨や大規模地震の発生などにより、ため池決壊による下流への甚大な被害が危惧されている。あわせて農業者等の減少や土地利用の変化から管理組織が弱体化し、日常の維持管理が適正に行われないことが懸念されている。</p> <p>これから梅雨の時期に入るが、町内のため池について以下のとおり問う。</p> <p>(1) 町内にため池は現在何か所あるのか。</p> <p>(2) 適正に管理されているため池と危険なため池の数はそれぞれどれくらいあるか。</p> <p>(3) 定期点検はどのようにされているか。また指導等はされているのか。</p> <p>(4) ため池の管理組織や組合に助成されているか。</p>	町 長
5. 23	6	田川 浩	<p>1. 人口減少問題について</p> <p>人口減少が続く本町だが、働く場が無く人口が流出するのがその大きな要因でもある。</p> <p>町内で雇用の場を増やすことが第一だが、次に近隣市町にその場を求めることも考えられる。</p> <p>また、これから交流・関係人口の増加も求められる。そこで以下の点について問う。</p> <p>(1) 町内の就業の場を町民に広報することはできないか。</p> <p>(2) 近隣市町の就業の場を町民に広報することはできないか。</p> <p>(3) 交流・関係人口を増加させるためにどのようなことに取り組んでいるのか。</p>	町 長
			<p>2. 文化振興係について</p> <p>本年度から社会教育課の中に文化振興係が新設された。図書館サービス充実と、太良町の歴史や伝統文化の継承に努めていくと施政方針にあるが、具体的な内容について問う。</p> <p>(1) 具体的な分掌する事務は何になるのか。</p> <p>(2) これからどのような事業に取り組んで行く予定なのか。</p>	教育長